

# 四月例会御案内

〔令和四年・通算第七一〇回〕

## 公益財団法人 協和協会

▽政府は、オミクロン変異株感染率減少傾向にあり、かつ第三回ワクチン接種が進捗しているため、「蔓延防止等重点措置」を解除しました。当財団も、四月から月例会を再開することにしました。

### ○ 御案内

四月十二日（火）〔午後一時入館可〕午後一時半～同三時半 参議院議員会館B105会議室  
講 題 ロシアの核兵器管理使用システム、プーチンの人間性・習性・意図について

講 師 名越健郎拓殖大学特任教授（海外事情研究所、元時事通信社モスクワ支局長・外信部長）  
本年二月二十四日に始まった、ロシアによるウクライナ侵攻はすでに一カ月を経過し、テレビに毎日、ロシア軍の戦車・戦闘機・ミサイルからの攻撃により、ウクライナ国内でマンションはじめ市民の住居が徹底破壊されているのを目にするにつけ痛ましく、この戦闘が、核戦争へ発展しないことを念じております。

しかし、西側諸国による経済封鎖などの対策により経済的に追い詰められているプーチン大統領はすでに、ロシアの核兵器使用準備を指示していることでもあり、この状況に危惧しております。その可能性については、まず、ロシアにおいて、核兵器・爆弾の管理はどうなっているのか、その使用ボタンはプーチンのみなのか数人なのか等々を知りたいと思います。

また、ウクライナの悲惨な状況を見ますと、プーチンに冷静な判断力があるのかどうかも心配になります。そこで今回は、この方面の専門家として知られる名越健郎先生に御解説いただきます。重要な課題、奮っての御参加、お待ち申し上げます。（清原記）

○ 出欠の返信欄は左頁をご覧下さい。御出席者は、四月七日（木）までに、御投函下さい。

当日会費（昼食はなし） 会員は二千円、非会員の参加者は四千円

（公財）協和協会 月例会 <http://www.kyowakyokai.or.jp>

四月十二日（火）の月例会に

出席 欠席（いずれかに○印を）

電話 03-3581-1192  
FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX 080-8836-6203 重田  
メール 080-9292-2620 高津  
(メール不可・通話のみ)

### ▽「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を研究調査し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出する」ことにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会その他に、八つの部会と五〇六の委員会を設置し、これまでに百三十八本の要請書を時の政府に提出している。

第二代会長は福田赳夫元総理、第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、第四代会長に塩川正十郎元財務大臣、第五代会長代行として江口一雄元衆議院議員。現在は、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員元外務副大臣。菅義偉内閣にて防衛大臣に就任され、岸田文雄内閣でも防衛大臣在任中。なお岸信夫防衛大臣就任中は、その全権限を代表理事兼執行理事の清原淳平に移譲されている。

▽事務局電話（03）3581・1192 代表理事兼執行理事・清原淳平、総務 重田、高津